

競技課題の内容(1)

選手権クラス (ISU シニア課題) (ショートプログラム)

	男 子	女 子
滑走時間	2分40秒±10秒	
a) アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b) 単独のジャンプ	トリプルまたはクアド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
c) ジャンプ ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d) フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後最少8回転	
e) スピン	足換え1回のみの キャメルまたはシット	レイバックあるいは サイドウエイズ・リーニング あるいは 足換え無しシット/キャメル
	各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f) スピン コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g) ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	

* スピンのポジションと認められるためには2回転が必要

選手権クラス (ISU シニア課題) フリー・スケート

	男 子	女 子
滑走時間	4分±10秒	
ジャンプ	最大7	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む	
	アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの2種類のみ、コンボ/シークエンスで繰り返し可能 そのうち1種類のみクワドラプル・ジャンプを繰り返すことができる。 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大3	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1種類ポジションのスピン	
	コンボは最少10回転、それ以外は最少6回転	
ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	
	コレオグラフィック・シークエンス	
	2回転までのジャンプ、スピンを含むことが出来、BOXを占めない	
	形状には制約は無いが、明らかにそれと分かるもの	
	レベルはフィックス、GOEのみで評価される	
	コレオグラフィックはステップの前もしくは後に実施することができる	

競技課題の内容(2)

ジュニア選手権クラス (ISU ジュニア課題) (ショートプログラム)

	男 子	女 子
滑走時間	2分40秒±10秒	
a) アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル
b) 単独のジャンプ	ダブルまたはトリプル・フリップ	
c) ジャンプ ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d) フライング・スピン	フライング・キャメル・スピン	
	着氷後最少8回転	
e) スピン	足換え1回のみの シット・スピン	レイバックあるいは サイドウェイズ・リーニング あるいは 足換え無しのシット・スピン
	各足最少6回転(合計12回転)	最少8回転(規定の姿勢で)
f) スピン コンビネーション	足換え1回のみ、少なくとも2種類の基本姿勢	
	各足最少6回転(合計12回転)	
g) ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	

* スピンのポジションと認められるためには2回転が必要

ジュニア選手権クラス・6級クラス女子・5級クラス女子 (ISU ジュニア課題) フリー・スケートティング

	男 子	女 子
滑走時間	3分30秒±10秒	
ジャンプ	最大 7	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む	
	アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの2種類のみ、コンボ/シークエンスで繰り返し可能 そのうち1種類のみクワドラプル・ジャンプを繰り返すことができる。 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大 3	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1種類ポジションのスピン	
	コンボは最少10回転、それ以外は最少6回転	
ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	

* スピンのポジションと認められるためには2回転が必要

競技課題の内容(3)

ノービス A クラス・4 級クラス (日本スケート連盟ノービス A 課題)

	男 子	女 子
滑走時間	3 分±10 秒	
ジャンプ	最大 6	
	第一ジャンプとして、ループ・ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 3 種類を含む	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2 回まで	
	トリプルの 2 種類のみ、コンボ/シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは 2 つまで可能 ジャンプ・コンボのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン (*1)	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し、姿勢変更無し、最少 6 回転	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング あるいは 足換え無しのシット/キャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可 最小 6 回転 (足換えの場合は最小 10 回転以上) フライング・スピンとは異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少 10 回転	
ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シークエンス	

(*1) スピンのポジションと認められるためには 2 回転が必要

係数、転倒等について

- ・転倒の減点 : 0.5/回
- ・後半のジャンプ要素の内、最後の 2 つの要素の BV を 1.1 倍とする。
- ・プログラムコンポーネントの係数は、男子 2.0、女子 1.6 とする。
- ・必須要素は表内の国内規定に準ずるが、必須要素の不足・違反に対する判定は、当該年度の ISU 規定に準ずる。

競技課題の内容(4)

ノービス B クラス・3 級クラス (日本スケート連盟ノービス B 課題)

	男 子	女 子
滑走時間	2 分 30 秒 ± 10 秒	
ジャンプ	最大 5	
	第一ジャンプとして、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 2 種類を含む	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2 回まで トリプルの 2 種類のみ、コンボ/シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シークエンスは 2 つまで可能	
	ジャンプ・コンボのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン (*1)	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し、姿勢変更無し、最少 6 回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行なうこと	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング あるいは足換え無しのシット/キャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、最小 6 回転 (足換えの場合は最小 10 回転以上) フライング・スピンとは異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少 10 回転	
ステップ	コレオグラフィック・シークエンスを最大一つ 形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOE のみで評価される	
	—	少なくとも 1 つ、3 秒以上の 支持なしのスパイラルが必要 (*2)

(*1) ポジションと認められるためには 2 回転が必要

(*2) スパイラルとは、一方のブレードが氷面に接し、(膝と足の両方を含む) フリー・レッグがヒップより高い姿勢のことである。スパイラル姿勢は、アウトサイドもしくはインサイドエッジに乗っていないと認められない。この定義を満たした支持無しのスパイラルがエッジの変更無しに 3 秒間無かった場合、コレオグラフィック・シークエンスは無価値となる。

係数、転倒等について

- ・転倒の減点 : 0.5/回
- ・後半のジャンプ要素の内、最後の 2 つの要素の BV を 1.1 倍とする。
- ・プログラムコンポーネントの係数は、男子 2.0、女子 1.6 とする。
- ・必須要素は表内の国内規定に準ずるが、必須要素の不足・違反に対する判定は、当該年度の ISU 規定に準ずる。

競技課題の内容(5)

2級クラス（日本スケート連盟2級ウェルバランスガイドラインに準ずる）

滑走時間	男子、女子共 2分
ジャンプ	最大 4
	ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたは ジャンプ・シーケンスを2回含むことができる 第一ジャンプは異なった4種類を含むこと 1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない 同じ種類のジャンプは2個まで (回転数が異なっても同じ種類とする)
スピン *	最大 2 レベルBで評価
	1つは1ポジションのスピン (5回転以上) 1つはスピン・コンビネーション
ステップ シーケンス	最大 1 レベルBで評価

1級クラス（日本スケート連盟1級ウェルバランスガイドラインに準ずる）

滑走時間	男子、女子共 1分
ジャンプ	最大 4
	ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたは ジャンプ・シーケンスを1回含むことができる 第一ジャンプは異なった4種類を含むこと (回転数が異なっても同じ種類とする)
スピン *	最大 1 レベルBで評価
	1ポジションのスピン (5回転以上)
ステップ シーケンス	最大 1 レベルBで評価

* ポジションと認められるためには2回転が必要

競技課題の内容(6)

初級クラス（日本スケート連盟初級ウェルバランスガイドラインに準ずる）

滑走時間	男子、女子共 1分
ジャンプ	最大 4
	ジャンプ 2 個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたは ジャンプ・シーケンスを 1 回含むことができる 第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと (回転数が異なっても同じ種類とする)
スピン *	最大 1 レベル B で評価
	1 ポジションのスピン (5 回転以上)

2 級・1 級・初級クラスにおける特別規程

転倒の減点 : 0.2

課題に関する明確定

1. ジャンプ ワルツ・ジャンプは初級クラスのみ認定する。
ノーバリューであってもジャンプの枠は使ったものとする。
2. スピン 全てのスピンはフライング、足換えは任意 レベル B のみ。
3 回転しなければノーレベル。
3. ステップ・シーケンス
シーケンスの長さは 1/2 以上あれば認定する。
1/2 に満たないものはノーレベル。

採点方法（プログラム・コンポーネンツについて）

- SS、PE、IN 3 要素のみで採点
- ファクター 2 級クラス : 1.8 1 級クラス : 1.5
初級クラス : 1.2